

事業概況

2016年3月期第2四半期

決算説明会

2015年11月11日



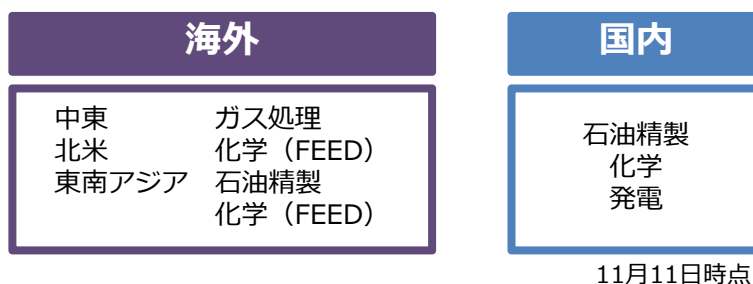
代表取締役会長 佐藤雅之

目次

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 上半期の受注状況 | 6. 受注へのスタンス |
| 2. 現在のマーケット環境 | 7. EPC分野拡大に向けた布石 |
| 3. 下半期の注力案件 | 8. プロジェクトの遂行状況 |
| 4. 下半期の受注戦略 | 9. 投資事業、触媒・ファイン事業 |
| 5. 海外EPCグループ会社が成長 | 10. 総括、新中計の発表 |

1. 上半期の受注状況

上半期受注金額：629億円
(通期受注目標：7,500億円)



事業概況 2016年3月期第2四半期 決算説明会

2/14

2. 現在のマーケット環境

- 限られた案件にコントラクターが集中、競争激化
- 資源国の内需向け案件は継続的に進展
- LNG案件は東アフリカ、北米で進展

中東/アフリカ	■ 内需向け案件、LNG案件を中心に具体化に向け進展
東南アジア	■ エネルギーの内需拡大に伴った設備投資が堅調
北米	■ FID時期不透明だが、計画は豊富
ロシア・CIS	■ 大型ガス田開発、石油化学案件で動き ■ GG間の協力案件
国内	■ メガソーラー、医薬等で投資が継続

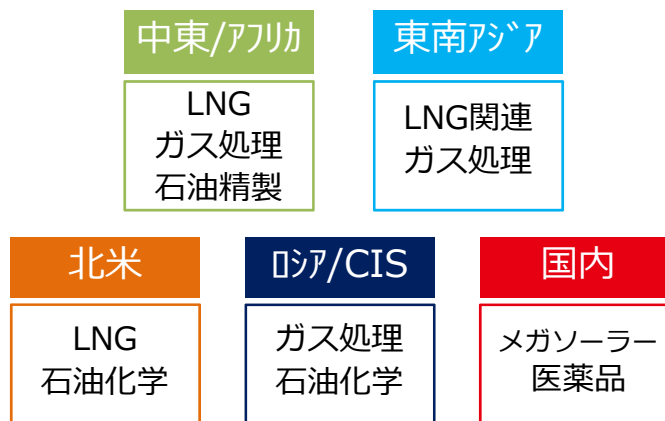


事業概況 2016年3月期第2四半期 決算説明会

3/14

3. 下半期の注力案件

LNGに加え、新地域への展開、改造・増設案件にも注力



4. 下半期の受注戦略

利益確保可能な良質案件の受注を目指す

さらなるコスト競争力の強化

- 海外EPCグループ会社の積極活用と単独受注を拡大

LNG案件は必注体制で臨む

- 北米案件は客先のFID決断を注視
- アフリカではモザンビークが当面の重点地域

将来の有望マーケットを積極的に開拓

- CIS、イラン、イラクの変化を先取り

5. 海外EPCグループ会社が成長

受注競争力・プロジェクト遂行力が大きく向上

JGC Gulf	JGC Indonesia	JGC America
上流ガス開発 中規模案件を単独受注	ガス処理 単独で中規模案件へ 入札	エチレン FEED 単独で FEED案件を 初受注



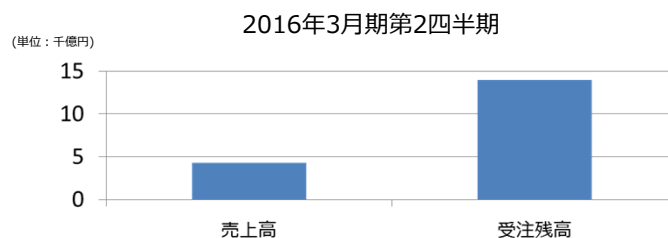
事業概況 2016年3月期第2四半期 決算説明会

6/14

6. 受注へのスタンス

中長期的な視点に立ち、持続的な成長・拡大を重視

- ✓ 現在の売上規模から、受注は3年間で2兆円規模（年平均7～8,000億円）の獲得が持続的な成長・拡大に必要と認識
- ✓ 単年度の受注高は、その年のマーケットの状況に左右される
- ✓ 受注残高が、1兆4,000億円に達している状況下、単年度の受注目標に固執し、無理な受注を重ねることは避ける
- ✓ 顧客の事業の付加価値/競争力の向上を目指す



事業概況 2016年3月期第2四半期 決算説明会

7/14

7. EPC分野拡大に向けた布石

ハイドロカーボンのみに留まらない多角化戦略を推進

ハイドロカーボン分野のさらなる拡大
に加え、インフラ分野への展開を加速



<p>原子力発電</p> <p>国内で蓄積した関連技術と海外プロジェクトの遂行力を融合</p>	<p>その他発電</p> <p>メガソーラー、JCF[®]、バイオマス等 新たな分野を開拓</p>	<p>空港・病院</p> <p>新興国でのインフラ案件に照準 事業運営との相乗効果</p>	<p>LNG受入基地</p> <p>内需拡大で、エネルギー 輸入設備案件が増加</p>
--	---	--	--

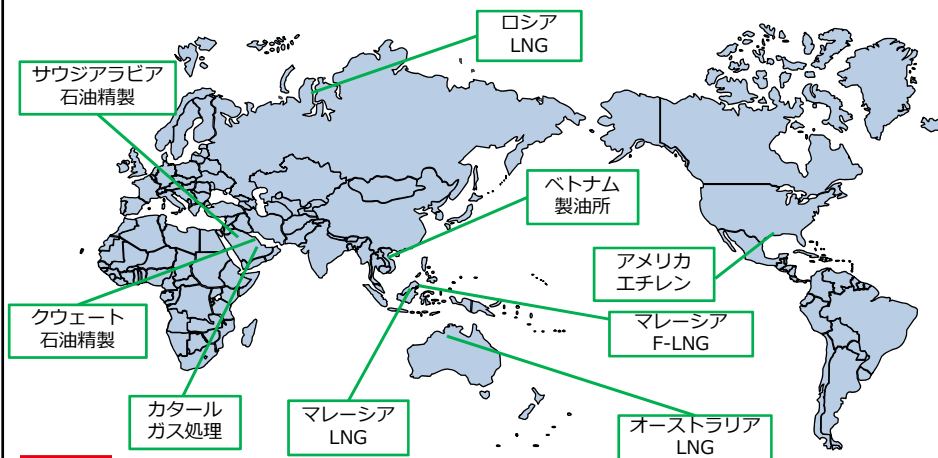


事業概況 2016年3月期第2四半期 決算説明会

8/14

8.1 プロジェクトの遂行状況（全般）

今期売上主要プロジェクトは順調に進捗
不採算案件は徹底した管理を継続



事業概況 2016年3月期第2四半期 決算説明会

9/14

8.2 プロジェクトの遂行状況（大型案件）

大型LNGプロジェクト遂行は順調に推移



5,000トン超のモジュール運搬船

オーストラリア イクシスLNGプロジェクト

- ・ 当社JV遂行のオンショアのLNGプラントは順調に進行中
- ・ ダーウィン現場では据え付け工事がピーク



現場に搬入されたモジュール

ロシア ヤマルLNGプロジェクト

- ・ モジュール輸送が始まり、現場搬入が開始



事業概況 2016年3月期第2四半期 決算説明会

10/14

9.1 投資事業、触媒・ファイン事業

投資事業 – 今期の取り組み

コア分野の発電・造水事業をさらに拡大

- 中東での電力供給事業
本分野初のリーダー案件として入札中

投資事業 – 今後の方針①

エネルギービジネスチェーンにおける事業展開を視野 ＜Oil & Gas分野での実績とノウハウを活用＞

- LNG受入設備運営および発電事業
- 低品位炭改質スラリー燃料による発電事業 等



事業概況 2016年3月期第2四半期 決算説明会

11/14

9.2 投資事業、触媒・ファイブ事業

投資事業 - 今後の方針②

事業運営とEPCの重層的利益を追求

- 国内太陽光発電事業（千葉県鴨川市）における経験をもち、新規案件を開拓

触媒・ファイブ事業

量産体制を強化し、受託事業を拡大

- 北九州で触媒工場を新設



10. 総括、新中計の発表

- 通期受注目標7,500億円を目指して
マーケットの変化、客先の動向を見極め
可能性を最後まで追求

- 通期業績目標の確実な達成へ
中計目標値である純利益500億円達成に向け
全力を尽くす

- 新中期経営計画の発表時期
2016年5月を予定



将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関するお問い合わせ先
日揮株式会社 経営統括本部 広報・IR部
Tel : 045-682-8026 Fax : 045-682-1112
E-mail: ir@jgc.com

